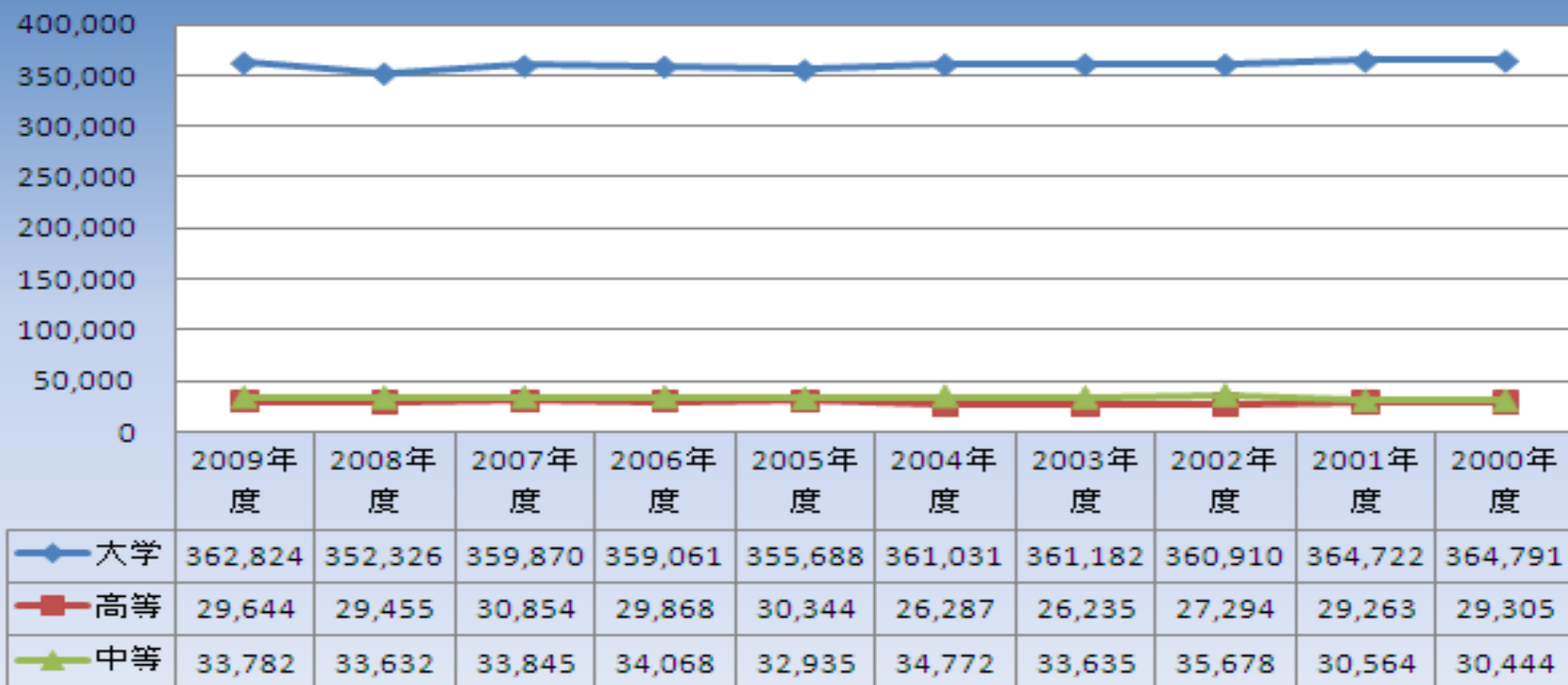


## 2. 帰属収入の主要項目別増減 ①

学校法人の運営の基礎は、**学生生徒等納付金**である。神戸女学院大学の場合、**帰属収入の8割**を占める。そこで過去6年間に調査すると、大学は35億2326万～36億2824万円であり、2009年度は過去6年間で最高値を記録している。

高等部は2005年度以降、3億円前後で推移し、中等部は多少増減があるものの3億4000万円前後で安定している。どれも安定した納付金を得ているといってよい。

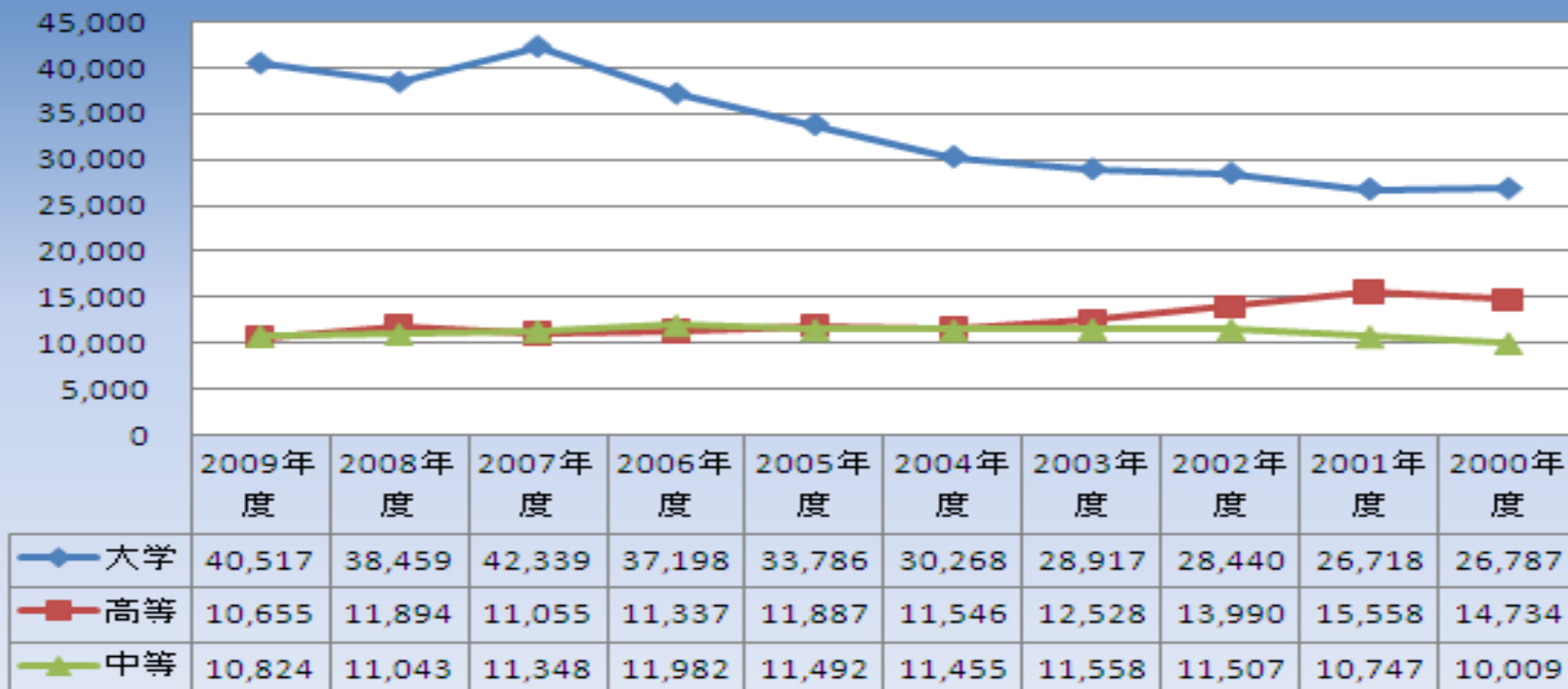
2000～2009年度 学生生徒等納付金の推移（単位：万円）



## 2. 帰属収入の主要項目別増減 ②

補助金については、中等部が微減傾向、高等部も横ばいだが、大学は2004年から2009年にかけて1億円近く増大している。資産運用収入は、大学、高等部、中等部それぞれ3～4倍に増加している(受取利息・配当金増加による)。一例として、大学は2009年度、7820万円の収入がある。一方、事業収入、雑収入などは減少傾向だが、6年間で2000万円減に留まり、大きな影響はない。

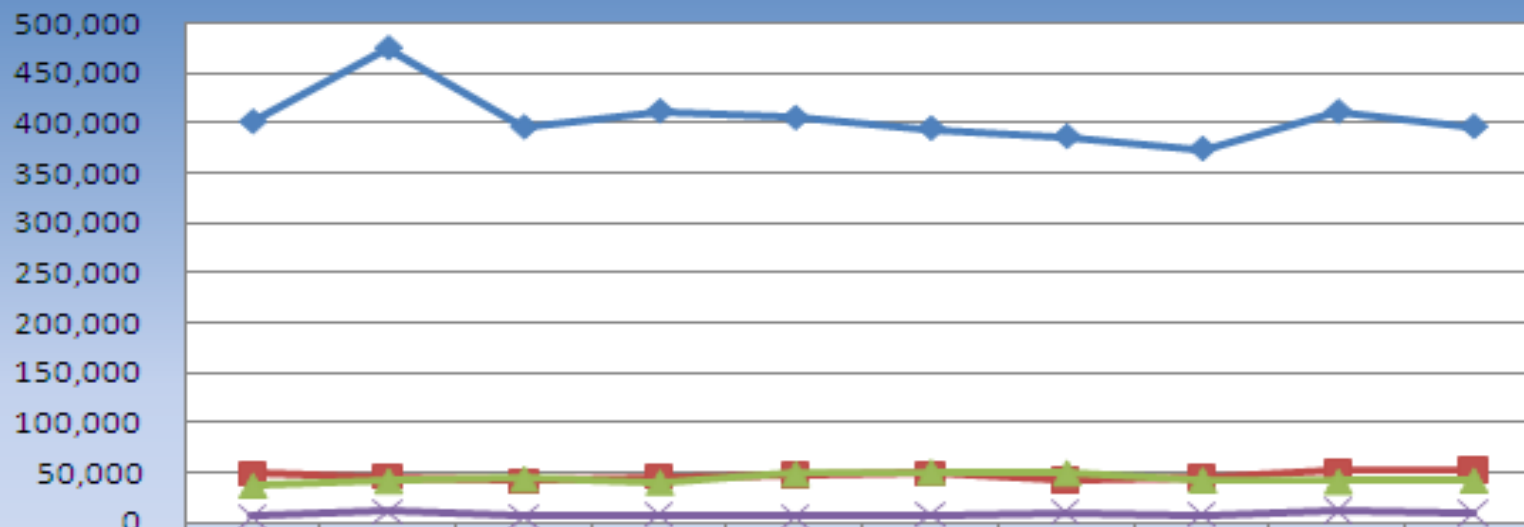
2000～2009年度 補助金の推移 (単位: 万円)



# 3. 消費支出(全体)の差異

消費支出について、大学は2008年度を除き著変なく、39億～41億円で推移している(2009年度大学、40億1271万円)。中等部は減少傾向にあるようである。

2000～2009年度 消費支出の推移 (単位: 万円)



	2009年度	2008年度	2007年度	2006年度	2005年度	2004年度	2003年度	2002年度	2001年度	2000年度
◆ 大学	401,271	474,919	395,737	411,789	405,164	394,506	386,446	374,093	411,357	396,280
■ 高等	49,552	45,841	41,615	45,890	47,878	49,273	42,497	45,204	51,658	52,737
▲ 中等	37,699	42,207	44,147	40,814	48,965	50,819	49,858	43,046	41,660	42,636
× 学校法人	6,018	10,843	6,145	7,468	5,874	7,675	10,073	8,113	12,048	9,717